

MEJAR参加行とのサステナビリティ分野の商品・サービスに関する連携について
～「MEJARサステナビリティソリューション連携」を締結～

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、基幹系システム「MEJAR」※を共同運営するコンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 片岡 達也）と東日本銀行（頭取 大石 慶之）、およびほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）と北海道銀行（頭取 兼間 祐二）とともに、サステナビリティ分野の商品・サービスに関する連携協定「MEJARサステナビリティソリューション連携」（以下、「本連携協定」といいます。）を下記の通り締結しましたので、お知らせします。

記

1. 本連携協定の趣旨・目的

MEJAR参加行は、これまでデジタル技術を活用した各施策を協働で推進するデジタル推進プロジェクト「MEJAR Digital Innovation Hub (MDIH)」の設立や、サイバーセキュリティに関する情報交換・共同訓練などを目的とした「MEJAR-CSIRT」の組成等の連携施策に取り組んできました。

社会・環境問題への意識の高まりを受け、地域金融機関にはサステナビリティ分野におけるソリューション等の提供が一層求められており、各行ではお客さまの脱炭素化支援などに積極的に取り組んでいます。

今般、MEJAR参加行は、サステナビリティソリューションなどに関する情報の共有や、商品・サービスの高度化に向けた連携を通じて、それぞれのお客さまのサステナビリティ経営を支援していくことや、地域経済の発展に貢献していくことを目的に、本連携協定を締結しました。

2. 具体的な連携内容

おもなテーマ	連携内容
サステナブルファイナンス	「サステナビリティ・リンク・ローン」や「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」等のサステナブルファイナンスに関する事例・情報の共有、商品導入に向けた連携、評価機関の共同活用など
行内外への啓蒙活動	行員向けの研修・教育コンテンツの共有や、外部向けセミナーの共同開催、外部コンサルティングの共同発注など
脱炭素関連ソリューション	温室効果ガス排出量の可視化支援や削減に向けたソリューションに関する情報の共有、脱炭素にかかる専門業者に関する情報共有など

※ NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)
 2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。
 七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以上